

愛媛県におけるアトジロサシガメの追加記録

安田昂平¹・原 有助^{2,3}・武智礼央⁴・大森悠紀⁵

¹ 面河山岳博物館 ² 愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター

³ 愛媛大学農学部生物有機化学研究室 ⁴ 西条自然学校 ⁵ 四国西予ジオミュージアム



写真1 *Yolinus albopustulatus* China, 1940
アトジロサシガメ (体長 20.0mm, 大洲市肱川町山鳥坂採集)

種の記録

Reduviidae サシガメ科

Yolinus albopustulatus China, 1940

アトジロサシガメ(写真1)

標本 標本保管: 愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター標本(BCEJ-Ent)00060, 個体数: 1♀, 採集年月日: 2023年11月5日, 採集場所: 愛媛県北宇和郡松野町延野々(33.229788N, 132.708725E), 採集者: 原 有助. 標本保管: 面河山岳博物館(写真1), 個体数: 1♂, 採集年月日: 2026年8月27日, 採集場所: 愛媛県大洲市肱川町山鳥坂(33.453290N, 132.683942E), 採集者: 武智礼央. 標本保管: 四国西予ジオミュージアム, 個体数: 1♀4♂(うち1♂を8月30日に採集), 採集年月日: 2026年8月30日, 9月6日, 採集場所: 愛媛県西予市城川町下相(33.379041N, 132.752076E), 採集者: 大森悠紀.

種の特徴

各脚の基節が黒色であること, 腹部結合板の側縁が

強く波状となり, 第6, 7節の大部分が白色であることから本種と同定した(Ishikawa et al., 2016).

備考

松野町では橋の手すりに静止していた個体, 大洲市では照葉樹林内を飛翔していた個体, 西予市ではソメイヨシノなどの樹幹に静止していた個体を採集した. 本種は中国とベトナムに分布する外来種と考えられ, 愛媛県では2022年に鬼北町小倉と同町興野々で初めて記録され(安田ほか, 2023), 2024年には同町日向谷で確認された(豊島, 2025)が, 鬼北町以外での追加記録は得られていなかった. 本種は活発に飛翔する(富永, 2018; 安田ほか, 2023)ことに加え, 西予市では複数個体が確認されていることから, 愛媛県の南予地域を中心に定着している可能性がある.

謝辞

投稿を勧めて頂いた愛媛大学ミュージアムの吉富博之教授, 文献情報をご教示いただいた豊島治朗氏, 面河山岳博物館の矢野真志氏にお礼を申し上げる.

引用文献

Ishikawa T, Nagashima S, Kawabe T. 2016. Discovery of *Yolinus albopustulatus* (Heteroptera, Reduviidae) in Japan. *Rostraria*, (59): 63–66.

富永 修. 2018. アトジロサシガメ *Yolinus albopustulatus* は, やはり秋になると飛びまわっている… かめむしニュース, (55): 8.

豊島治朗. 2025. 鬼北町多位夢トンネルでアトジロサシガメを確認. 愛媛県における「隧道マレーゼ」採集法 希少昆虫研究への導入: 29. 特定非営利活動法人愛媛昆虫類調査機構.

安田昂平・矢野真志・吉富博之. 2023. アトジロサシガメ(カメムシ目, サシガメ科)の四国からの記録. 昆虫(ニューシリーズ), 26(2): 134–135.

(2026年9月21日受付, 2026年9月29日公開)

連絡先: 安田昂平(e-mail: koheizari303@gmail.com)

(Kohei Yasuda, Yusuke Hara, Leo Takechi and Yuki Omori. 2026. Additional records of *Yolinus albopustulatus* (Reduviidae) in Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 26027)